

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

台東区立御徒町台東中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	生徒の状況及び実態を踏まえた課題 区平均差 ・漢字を正しく書くこと。 +5.2pt ・情報の扱い方に関するこ +3.8pt ・話すこと聞くこと。 +1.7pt	特に育成を目指す資質・能力 ・意図に応じて話の内容を捉え、適切な質問をする能力 ・自分の考えが伝わるように書く能力 ・段落の役割を理解し、読み取った内容をまとめる能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫 ・話合い活動において役割を決め、話合いが活発にする。 ・理由根拠を明確にして説明することで相手意識を高めさせる。 ・図書館司書と協力して朝読書時間を充実する。
第2学年	生徒の状況及び実態を踏まえた課題 区平均差 ・漢字を読み書きすること。 読-0.4pt 書-1.1pt ・文章の構成や日常生活について記述すること。 +1.0pt	特に育成を目指す資質・能力 ・話の内容を正確に聞く、読み取る資質 ・表現語彙を広げ、表現する語彙力 ・読解問題を踏まえた記述をまとめる能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫 ・1人1台端末を活用し、漢字テストや文法の確認テストを単元ごとに実施し、確認する。 ・聞き取り問題や要旨をまとめる問題に取組ませる。 ・自他の意見を交流させて相違点をまとめらる。
第3学年	生徒の状況及び実態を踏まえた課題 全国平均差 ・漢字を正しく書くこと。 +3.1pt ・話を聞き取り、指示を理解すること。 -2.0pt ・人にわかるように自分の考えを説明すること。 -2.0pt	特に育成を目指す資質・能力 ・必要な場面で正しく漢字を使える能力 ・授業に集中して取り組む習慣 ・グループ活動におけるコミュニケーション能力 ・説明的文章における読解力 ・言語に関する興味・関心	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫 ・漢字確認と漢字テストの実施。 ・1人1台端末を活用し、語句を高める教材の活用。 ・グループ活動での発表を多く設定し、生徒同士で学びを深める機会を増やす工夫 ・説明文の読解で、常に段落相互の関係を考えさせながら内容を読取る指導。

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

台東区立御徒町台東中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	<ul style="list-style-type: none">習得した知識を活用して資料を読み取ること。既習した学習内容が定着していない生徒が多い。	<ul style="list-style-type: none">基本的な知識を理解し、資料読解において活用する力。既習した学習内容を復習する習慣。	<ul style="list-style-type: none">デジタル教科書などで資料を提示して、既存の学習内容から分かることを聞く。授業内に振り返りの時間を設け、既習した学習内容を復習する機会を増やす。
第2学年	<ul style="list-style-type: none">複数の資料を読み取って1つの解答を導き出すこと。既習した学習内容が定着していない生徒が多い。	<ul style="list-style-type: none">資料から読み取れる内容を精査する力既習した学習内容を復習する習慣。	<ul style="list-style-type: none">グラフの種類や資料内容に応じた、読み取るポイントを繰り返し指導する。授業内に振り返りの時間を設け、既習した学習内容を復習する機会を増やす。
第3学年	<ul style="list-style-type: none">1、2年時に学習した内容が定着していない生徒が多い。学習計画を把握できておらず、見通しをもって学べていない。	<ul style="list-style-type: none">1、2年時の学習内容を復習する習慣。見通しをもって、自分の学習を管理する力。	<ul style="list-style-type: none">授業中に過去に学習した内容を振り返る場を多く設け、確認させる。家庭においても長期休業期間中の総合問題集を使った復習学習をすすめるよう働きかけていく。単元を貫く課題を提示し、その課題の回答を文章や図で表現させる。

令和5年度 数学科 授業改善推進プラン

台東区立御徒町台東中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 文字と式において、文字を使った式が表すものや文字の値を求めること。 平面図形において、対称な図形について理解すること。 小数や分数の計算を苦手とする生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使って数量を表すことの必要性や良さを理解すること。 図形の見方をより豊かにし、論理的思考力を高めること。 学習した内容を定着させること。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使った式の表現や読み取り、計算の活動をバランスよく設定し、文字を使うことの良さに触れる。 見方を変えて図形の考察を行い、基礎的な概念の理解を深める問題設定を行う。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 関数について理解すること。 比例・反比例の式を求めたり、グラフをかいたりすること。 具体的な事象を関数関係とみなし、問題解決をすること。 データから、資料の特徴を読み取ったり、その特徴をもとに説明したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること。 関数を用いて事象を捉え、考察し、表、式、グラフで表現すること。 データをまとめ、分布の傾向を理解して説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数関係に着目し、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し、表現する場面を設定する。 具体的な事象を関数関係とみなし、未知の状況を予測し、他者に説明する場面を設定する。 身近なことを数学の学習につなげ、理解を深める。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 関数の問題で与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。 三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることや証明を振り返って読み取ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた情報を読み、事象の特徴を的確に把握すること。 数学の事象から問題を発見し、数量や図形などの性質を見出し統合的、発展的に考察すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学的に表現したことを事象に即して解釈し問題解決の方法を数学的に説明する機会を多く設定する。 証明に用いた前提や証明の根拠、結論を整理するなどして証明を振り返り、新たな性質を見いだす活動を取り入れる。

令和5年度 理科 授業改善推進プラン

台東区立御徒町台東中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	<ul style="list-style-type: none">授業中、積極的に発言や発表ができる生徒が多い。単元内容と日常生活の繋がりに興味・関心を持ち、調べ学習での取り組みに生かすことができる。計算問題や文章問題の正答率が低い。	<ul style="list-style-type: none">データや図を読み取り、要点をまとめて科学的文章で説明/表現をする力。図や表を用いない文章のみの問題について、その内容を思考・判断できる力。	<ul style="list-style-type: none">実験前の予想と話し合いの場面を設ける。また、結果について生徒各自が文章でまとめる時間をつくり、全体で発表させる。文章問題の要点部分に下線部を引く、文章を図など視覚的に分かるものに置き換える練習を積ませる。
第2学年	<ul style="list-style-type: none">実験結果から多角的にそのデータについて思考・分析できる生徒が増えた。発言・発表をする場面を、人任せにする生徒が多い。	<ul style="list-style-type: none">科学的な知識を利用して発言・発表する力。理科の事象と日常生活の繋がりを理解する力。	<ul style="list-style-type: none">実験や単元の導入場面の発問を利用して、質問に対して自身の考えをまとめ、伝える力を育てる。内容が良い生徒の考えは、発表や掲示を行い、様々な考えを知る機会を設ける。
第3学年	<ul style="list-style-type: none">実験で得たデータ・情報を科学的に理解分析し、整理することが苦手な生徒が多く見られる。生活に関する科学的な疑問をもつ生徒が多く、授業内容に紐づけて学ぼうとする姿勢の生徒が見られる。	<ul style="list-style-type: none">データや図を読み取り、要点をまとめて科学的文章で説明/表現をする力。事象の成り立ち/構造について科学的に自分の力で思考判断する力。	<ul style="list-style-type: none">ICT機器を活用すること、学習内容が生活に応用されている例を挙げることで、授業への関心をさらに高める。生徒が事象の成り立ち/構造を捉えられるよう、授業を段階的に構成し、要点をまとめていくことで、根拠のある科学的文章力を養う。

令和5年度 英語科 授業改善推進プラン

台東区立御徒町台東中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校までの学習で、「聞くこと」の力はある程度身に付いている。 ・日常会話の聞き取りや、英語での応答には慣れている。間違いを恐れずに積極的に話そうとする姿勢を持ち続ける必要がある。 ・英語の語順を理解して、文を聞いたり書いたりする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話を正確に聞き取る力 ・伝えたい内容を英語で正しく書く力 ・既習事項を用い正確に話す力 ・英語の語順を理解して表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で既習事項を繰り返し使うことで、「読む・聞く・話す・書く」の力を高める。 ・文法だけではなく、実際に英語を使い、話しながら理解を深めていくような指導を実践する。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙が増え習った語を聞き取ったり書いたりできるようになった生徒が多いのに対し、語形・語法の知識・理解が不足している。 ・英作文を不得意としている生徒が多く、「書くこと」に課題を感じている生徒が半数以上いることが分かる。 ・聞くこと、読むことの観点について、内容を理解できている生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・獲得した語彙を使い正しく書く力 ・自分が表現したい内容について英語を用いて書く力 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法指導を丁寧に行い、文の組み立て方を理解できるような指導を行う。また、毎回英文を書かせ教員が確認することで定着を図る。 ・既習の英文法を振り返る時間を設ける。 ・自分の表現したい内容を書けるようにするために、英作文を書かせる時間を設け、添削を行う。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」「読むこと」に関して、まとまった英文の内容を、大まかに理解する力はある程度身に付いている。 ・「話すこと」に関して、見たものを英文に表すことや即興で話すことが難しい。 ・「書くこと」に関して、まとまった英文を読み、自分の考えや意見を正しい英文で書くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生で学んだ内容の文法の定着。 ・既習事項を使って英語を話す・書く力。 ・自分の考え方や意見を英文で表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容を振り返る課題を定期的に出しているので継続する。また、授業中にも復習の時間をとって定着度を把握する。 ・見たものを英文で伝えたり、自分の考え方や意見を即興で伝えたりできるように、帯活動でスピーチングの練習を繰り返し取り組む。